

平成26年度沖縄総合事務局、琉球大学と 四国地方整備局との橋梁技術交流会

沖縄地区鋼橋塗装マニュアル検討委員会において策定した「沖縄地区鋼橋塗装マニュアル」には、遮塩板の敷設による飛来塩分の遮断工法が長寿命化技術の一つとされています。

四国技術事務所においても、橋梁塗装管理手法検討業務を取り組んでおり、お互いの知見を深めるため、交流会の開催を実施しました。

また、遮塩板(NETIS登録技術)においては、現在大洲河川国道事務所にて工事を行っている宇和島道路の岩松川橋に直轄工事としては初めて採用されており、現地見学も行いました。

日 時:平成26年9月25日(木)

意見交換:松山河川国道事務所会議室9:00~12:00

現場見学:宇和島道路「岩松川橋」(愛媛県宇和島市津島町) 14:00~16:00

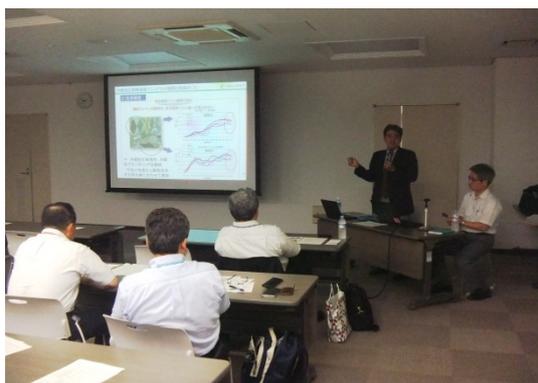


写真-1 琉球大学
下里先生による発表の様子



写真-2 四国地方整備局
岡崎道路構造保全官による発表の様子

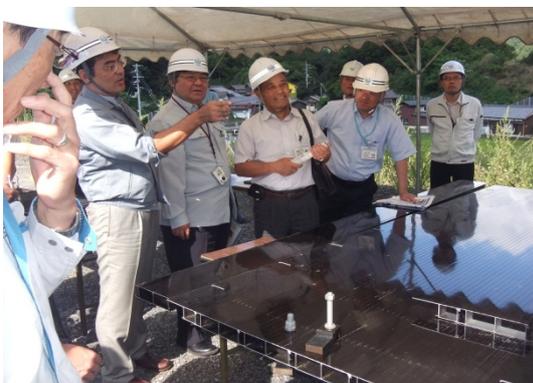


写真-3 遮塩板の見学の様子(岩松川橋にて)

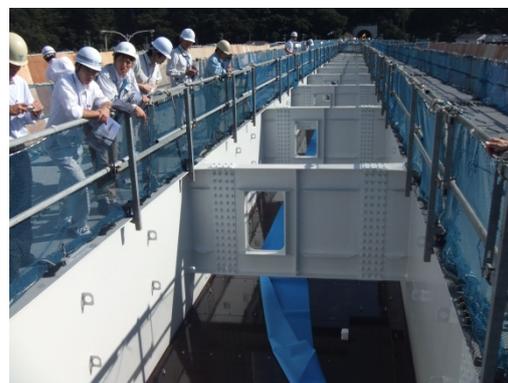


写真-4 岩松川橋の見学の様子